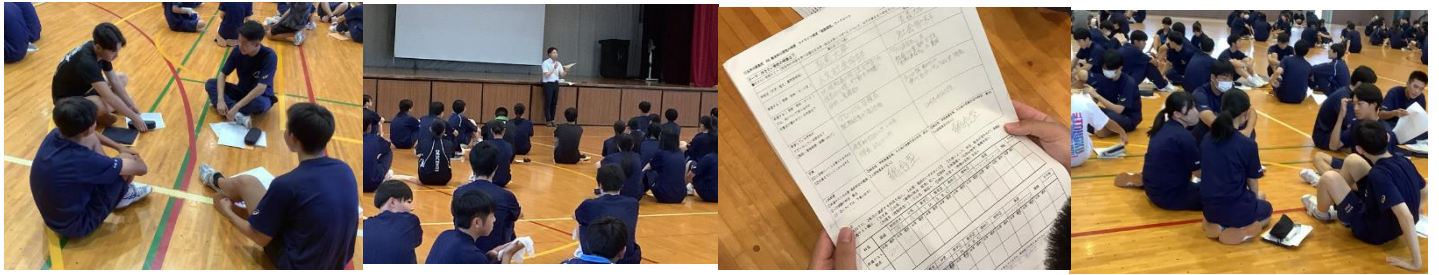


総合的な探究の時間

「進路探究」

対象：1 学年 令和6年8月29日（木）



8月29日（木）進路探究に関する夏休みの宿題を人文・教育・理学・農業など10グループに分かれて、発表をしました。はじめは、書いている内容のみを発表していましたが、先生からのアドバイス後「なぜ、その大学を調べようとしたのか。」「オープンキャンパスで大学を見学した印象は、どうだったの？」など色々な角度から質問が飛びだし、活発な話し合いに変化していきます。

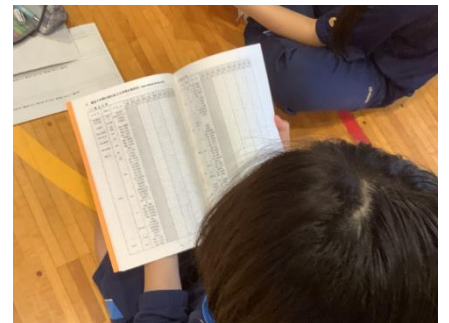
ある人は、身内が京都に住んでいるため夏休みを利用し、「京都精華大学」のオープンキャンパスに参加したことを発表していました。漫画の図書館がある、学食の値段の平均が250円だなどオープンキャンパスに参加しないと分からない内容を伝えたことで、グループの人達が興味深げに耳を傾けていました。また、ある人は建築士になりたいが、これからどんどん人口が減少していくのに新築の需要があるのか、R-CAPで向いていないと診断され、希望している学部に進学してもいいものなのかなど、進路の悩みを打ち明けているグループもありました。

最後に先生が「進路資料」の見方について、説明をしてくれました。家が近いから選んだ大学を受験するより自分が研究したいことを勉強できる学部がある大学を受験した方が、学びのモチベーションを維持できるというアドバイスをしてくれました。

【感想】

知らなかった学部がある大学をたくさん知ることができた。将来の視野を広げるもできた。さらに違う大学の同じ学部を比較して、違いを見つけ今後の大学調べに活用していきたい。

同じ大学の教育学部の中学校教員になりたい人でも、それぞれなりたい理由が明確だった。同じグループの人は、学部は教育学部だが、私立大学も細かく調べており、見習いたいと思った。大学受験では、私立大学は受験しようと思えば、たくさん受けることができるが、1校あたりの受験料が10万円近くかかると話していた。お金がかかるので、しっかり考えて本当に心から行きたいと思う学校を受験したい。



県外の大学で試験方法が同じで、場合によって学費免除のところもあり自分では知らないところや初めて聞いた大学もあった。新しい発見もあったのでもっと深く調べたいと思った。

オープンキャンパスに行ってきた人の話は、行かなければ分からない学校の雰囲気などを知ることができた。これを進路選択に生かしたい。